

令和8年度用

改訂新版

社会の新研究

奈良県 高校入試情報

令和7年度奈良県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

○大問数：地1・歴2・公1・地公の計5問。

○小問数：30問（昨年は29問）

○文章記述問題は9問（昨年と同じ）

●出題傾向について

○小問数など全体のボリュームが非常に多い。慌てないよう時間配分に注意する。

○地理・公民では、複数の資料から読み取る問題が出題されている。

○歴史分野では例年通り並べ替え問題が出題されているため、同時代の出来事をおさえておく必要がある。

★奈良県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■活用問題の出題

・地理に加えて、公民でも資料を読み取って理由や背景を考察し記述する問題が出題されている。そのため資料の読み取り対策と記述対策の両方が必要。

→

新研究で対策！

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」（p. 194～197）では、複数の資料を読み取る問題や、自分の意見を記述する問題など、最新入試問題からピックアップした、今後も出題されそうな新しいパターンの問題を掲載しています。入試対策の仕上げとして取り組むことができます。

■歴史の時代関係の問題の出題

・例年、歴史でおもなできごとの並べかえ問題が出題されているため、テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。

→

新研究で対策！

●「特集 流れでみる歴史」（p. 114～119）で、同時代のできごとを整理。「ふりかえりチェック 歴史年表編」（p. 120～121）で、すべての時代の流れをつかむことができます。

●「並べかえ問題に強くなるう！」（p. 190～191）では最新の入試問題で並べかえ問題がしっかり練習できます。

★新研究で出題した奈良県の入試問題(令和7年度)

◆p.109 大問3 ◆p.133 大問3 ◆p.141 大問2 ◆p.186 大問3

奈良県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★奈良県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	
		日本の姿		●	
		世界各地の人々の生活と環境		●	
		アジア州	●	●	●
		ヨーロッパ州, アフリカ州	●	●	
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州		●	
		地域調査の手法		●	
		日本の自然, 人口	●		●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方			
		近畿地方, 中部地方	●		
		関東地方, 東北地方, 北海道地方		●	●
	歴史的分野	文明のおこりと日本	●		●
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●	●	
		近世社会の発展	●		●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●		
		近代日本の歩み	●	●	
		二度の世界大戦と日本		●	●
出題形式別の傾向	公民的分野	現代の日本と世界	●	●	
		現代社会と私たちの生活	●	●	●
		個人の尊重と日本国憲法		●	●
		現代の民主政治, 国会	●		
		内閣・裁判所, 三権分立	●		●
		地方自治		●	
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融		●	
		財政, 国民生活と福祉	●	●	●
		地球社会と私たち		●	●
		分野統合	●	●	●
出題形式別の傾向	大問数		5	5	5
	小問数		30	31	29
	記号解答		13	13	15
	用語記述		7	7	5
	文章記述		10	11	9
	作業・作図				